

【保護者等向け】放課後等デイサービス評価表 結果集計 および 方針のご説明

事業所名：ハートシード風【放課後等デイサービス】

実施時期：令和7年9月

対象者：実施時期にハートシード風に通所する就学後児童の保護者 4名（回答 3名）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	1			・大人が入ると少し狭そうにみえてしまう。	法令を遵守し、安心と支援の目と手が行き届くようスペースと人数を考慮して、安全に活動できるよう努めています。親子参加に重きを置いているため、伸び伸びと身体を動かすには狭さを感じますが、職員人数もその都度調整しながら活動を実施していきたいと思います。お散歩や外活動など屋外で思い切り身体を動かせるような活動も取り入れています。活動していく中で、スペースをどう有効的に使っていかを日々試行錯誤しながら活動を考えています。その際には、できるだけ密にならずに活動ができるような設定を心掛けています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3					利用児の人数に対して法令で定められている職員数より多く配置しています。専門職を中心に支援方針や関わり方について、日々検討し適宜研修を行っています。ご家族とお子さまの様子や支援方法について共有し、専門性を感じて頂けるよう努力します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3					個々のお子さまが理解し行動しやすい生活空間となるよう活動や片付けの場所や方法など検討しています。洗面所の段差が一カ所ありますが、滑り止めシートを貼り対応しています。怪我防止の為に、窓ガラスには飛沫防止シート、壁にはクッションマットを貼り、床は厚めのクッションマットを全面に敷き詰めています。マンションの出入り口は階段となっていますが、ベビーカーの際には出来る限りサポートしていきたいと思っています。それぞれに必要な設備、おもちゃ、福祉用具などを適宜検討していきますので、今後とも要望は遠慮なくお申し出ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3					衛生管理面では、毎日活動後に感染予防のため塩素系漂白剤で床や椅子、遊具や活動で使った物(絵本や文房具類など)を拭いています。クラスの入れ替え時には、換気、消毒を徹底し、活動中は小窓(子どもが届かない所)を開け換気しています。ペンや磁石など細かい物の整理管理に努めます。午後の活動時には、西日によって眩しくなる時間帯があるため、カーテンを閉めて対応しています。 トイレについては、プライバシーにも配慮できるようにドアにカーテンを付けています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					当事業所は、作業療法士、言語聴覚士、公認心理師、社会福祉士、保健師、保育士、児童指導員を配置しております。それぞれの専門性を発揮しながら、チームで個々のお子さまの発達や特性に応じたきめ細やかな支援が提供できるよう努めています。個別支援計画、専門的支援計画に基づきながら、1人ひとりの特性を保護者と共有しながら、支援していきたいと考えています。
	6	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3					公表が義務づけられた支援プログラムは、話し合いを重ねて作成し、R6年度より公表しております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	3					契約時に支援計画を作成し、半年毎に見直し(モニタリング)をしています。 支援計画の見直し前に質問紙をお渡しして、ご家族のご要望などを伺っています。お子さまやご家族の気持ちに寄り添いながら、良い支援を考え作成したいと努めています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な 支援の 提供	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					<p>放課後等デイサービスガイドラインとは、障がいのある子どもに提供すべき支援の質を確保するために、基本的な内容や運営を定めた全国共通の枠組みです。</p> <p>私たちの事業所は、これを踏まえて事情に応じた創意工夫をし、機能や質の向上を図る努力をしています。</p> <p>個別支援計画の作成過程や活動の中で具体的な支援を実施する上では、ガイドラインに示されている要件を踏まえつつ、お子さまご家族の様子や環境の状況に必要な支援を選択し設定します。支援の範囲は広く、活動を通したお子さまに対する直接的な支援のほか、間接的な環境づくりの支援(ご家族に対する支援、学校などの連携や、地域活動への参加に向けた体制づくり)も大切と考えます。</p> <p>放課後等デイサービスガイドラインは、事業所内(ピアノの棚)に常備しております。(WEB上でも公開されています)ご自由にご覧ください。ご不明な点がございましたらいつでもお声がけください。</p> <p>ご利用者様にとって適切な支援計画が策定できるよう、日々研鑽を積んでいきたいと思っております。</p>
	9	放課後等デイサービス計画(個別支援計画)に沿った支援が行われていると思いますか。	3					<p>支援計画上の具体的な支援内容を職員間で共有し、関わり方を検討しながら日々の活動を組み立てています。活動の中でお子さまの様子についてご家族とお話しています。活動後は、支援計画に沿った支援が行なわれたか振り返りを行なっています。</p>
	10	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3					<p>多様な遊びの経験が、新たな関心、余暇活動へと繋がると考えています。お子さま主体としての思いや願いを受け止め、自己選択、自己決定する時間を設けながら、集団の中で自身を発揮できるように支援してまいります。</p> <p>安心した大人がいる環境の中で、遊びを通してお子さま同士の間を深めたり、主張したり、葛藤しながら折り合う経験を積み重ねていくことで、仲間と共に過ごす心地よさ、人への関心が育っていくと考えています。</p>

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な 支援の 提供	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域で他の子どもと活動する機会がありますか。			1	2		外活動の日には、近隣の公園で地域の方や、近所の子ども達と交流をもつ機会があります。 同法人事業所の放課後等デイサービスを利用している子どもたちとの交流できる機会を検討していきたいです。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					ご契約時と、更新時にお話をさせて頂いています。ご利用開始後にご不明な点は、遠慮なくお尋ねください。運営規程などの書類は、事業所内（ピアノの棚）に常備してありますので、ご自由にご覧ください。
	13	「放課後等デイサービス計画(個別支援計画)」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					放課後等デイサービス計画を作成後、面談にてご家族と共有しています。丁寧な説明を心掛けています。 半年毎の放課後等デイサービス計画の見直し時期に加え、お子さまの日頃の姿・家庭生活・学校生活での変化を見ながら、必要に応じて行っています。
保護者への 説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)(※5)や、入室時の聞き取り、保護者同士のグループワーク等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3					親子で参加して頂く日を設けています。活動の中で、お子さまの特性や接し方を学ぶことを、家族支援と捉えています。 日々の活動場面やマザーリング、面談などを通してお子さまとの関わりや声かけなどについて一緒に考えています。 ご家族のご希望に応じて、コース(8～9回)での受講も可能です。プログラムに参加をご希望される方はお申し出ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保 護 者 へ の 説 明 等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3					みのりっこクラスでは、連絡帳(ノート)でのやり取りをしています。最近のご家庭での様子や、学校や放課後の様子を共有しています。送迎時に、その日の体調を含め、その日の学校での出来事を共有しています。 ご利用時にお子さまの様子やご家族の思いをお聞きしています。発達の状況や課題についてもそれぞれの考えを話し合っています。いつでもお話が出来るよう心掛け、活動中に十分な時間がとれない時は、面談や電話もご利用ください。職員一同努力しているところですが、発達の見立てや保護者との共有には、更に研鑽が必要と考えています。
	16	定期的に、面談や聞き取り、子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					受け入れ時にお話を伺っております。必要に応じて、その都度お時間をとりお話を伺います。支援計画の更新時、定期的にご家族との面談を行なっています。 みのりっこクラスでは、マザーリング(保護者同士の時間)を実施しています。多機能型事業所の良さを活かして、年長児保護者と1年生保護者と合同の話し合いの場も設けています。保護者間の情報交換の場になり、とても貴重な時間となっています。今後もハートシード風の様子やご家庭での様子を踏まえて、ご家族の考えやご要望をお聞きしながら、お子さまのことを一緒に考えていけたらと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					日頃から、お子さまや保護者の方に共感的に寄り添いながら、お話を伺っていくよう心掛けています。活動前の聞き取りやお話の中で、共有していくことや、コミュニケーションを大事にしながら支援していきたいと思います。ご利用者様にとってより良い支援が提供できるように、日々研鑽を積んでいきたいと思います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1				ハートシード風の放課後等デイサービスは、親子で活動に参加する日もあります。マザーリング(保護者同士の時間)として、その日の活動の振り返りや、学校での様子を共有する時間を設けています。今後も保護者間の交流できる機会を大切に、皆様のご要望を伺いながら、ご家族の情報交換や交流の場を設けていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					ご家族からのご相談やお申し入れがありましたら、大切に受け止め、すぐに対応するよう心掛けています。相談や申し入れを受けた時には、重要事項説明書に記載された方法で迅速に対応させていただきます。 苦情解決に関する相談、お問い合わせ先を玄関先に提示してありますのでご覧ください。 【①事業所内苦情解決管理責任者 ②苦情解決連絡協議会(第三者委員) ③行政機関苦情受付機関】 皆様のニーズを検知出来るよう広い視野とよく聞く耳を持てるように努力していきたいと思っております。ご希望がありましたら、面談の機会を設けられるように対応していきたいと思っておりますので、気兼ねなくご相談ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					内容によりお手紙の配布や口頭、お電話など、ご家族の状況に応じた方法で確実にやりとりするようにしています。いつでもお話が出来るよう心掛けています。活動の様子については、連絡帳や口頭でお伝えしています。
	21	定期的にお便りや通信、ホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3					皆様への必要な連絡事項や情報提供はその都度、掲示物や配布物（毎月のお便り等）、口頭でのご連絡させていただきます。年に一度、ガイドラインに基づいたアンケート(保護者評価・事業者自己評価)を実施し、ホームページ上で結果のご報告をいたしております。必要に応じて一斉LINEやホームページお知らせ欄などを有効に活用していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					個人情報の取り扱いには十分に気を付けていきます。関係機関との連携などが必要な場合は、保護者様の同意を得た上で行ないます。不都合やご心配などは遠慮無くお申し出ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3					契約時にご説明しています。またマニュアルは事業所内(ピアノの棚)に常備しておりますので、ご自由にご覧ください。ご不明な点がございましたらいつでもお声がけください。 今年度は、9月に避難訓練を実施しました。避難訓練週間を設定し、災害時緊急メールの一斉配信と、各クラス地震を想定した訓練を行ないました。 感染症予防対策として、ご自宅で検温し、ノートや記録表にその日の体調を記入して頂いています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3					大地震など避難を要する災害の場合、ハートシード風は鎌取コミュニティセンターが避難場所になります。今年度は、9月に避難訓練を実施しました。事前に職員間で訓練をした後、各クラスごとに避難訓練を実施しました。実際に緊急アラーム音を鳴らして、事業所の建物から外に避難しました。避難訓練での反省点を職員間で共有し、今後に活かしていきたいと思います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3					安全計画については、事務室にございますので、ご覧になりたい方はお気軽にお声がけください。 契約時には、緊急連絡先やかかりつけ医等を確認しています。安全対策として、活動中の施設、柵の強化をしています。 外活動の際には、事前に経路、活動場所に下見に行っています。危険箇所を確認し、安全に外活動が実施できるようにしています。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3					活動中に事故や怪我等があった場合には、状況を見て迅速に対応しています。状況によっては、保健師、看護師の指示を受けながら対応しています。分離活動の際には、速やかに保護者の方に連絡し、状況を伝えています。活動終了後には、職員間で話し合い、事故報告書を作成しています。同法人事業所とも内容を共有しています。事故や怪我がないように努めていきたいと思います。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	3				・いつだって気に掛けてうながしてくれるので助かっています。	親子が安心して過ごせる場を目指しています。面談時や、分離をする場合には、緊張や不安になることもあるかと思いますが、保護者の方と状況を共有しながら、お子さまの様子を見て接していきたいと思います。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	3					ハートシード風が、お子さまにとっても安心してリラックスできるような場所にしていきたいです。放課後の時間を、職員やお友達とゆったりと過ごせる時間にしていきます。お子さまの主体性を大切に活動内容をお子さまたちの意見を聞きながら一緒に考えていきたいと思います。今日の満足感、肯定感が次への期待、意欲、成長の糧になると考えています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	3					いつもハートシード風の支援にご理解、ご協力頂きありがとうございます。 親子がいつでも楽しく安心して通える場を目指しています。信頼出来る大人がいる中で、活動を積み重ねることで、人への安心感や信頼感を深めていきます。 お子さま、ご家族の願いに沿った支援ができますよう、今後もコミュニケーションを大切に、丁寧に取り組んで参ります。ご相談やご要望など気になる点がございましたら、遠慮無くお聞かせください。